

## 『飛鳥から遥かなる未来のために（朱雀・前編）』

日本がまだ倭（やまと）と呼ばれていた古代。激動の東アジア情勢の中で、大和を中心に中央集権国家造りが急務であった。今明かされる、若き上宮皇子（聖徳太子）達の苦闘と成長。

『日本書紀』その他の書物に鋭い疑問が投げかけられ、考察されて、歴史的に可能性の高い人間ドラマが展開していく。

【表紙】

